

いたばし No.1 実現プラン 2021 の 令和元年度の実績をお知らせします



板橋区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

「実施計画」

「実施計画」は、普遍的な国際目標である SDGs（持続可能な開発目標）を見据えながら、板橋区基本計画 2025 で定めた 3 つの基本目標とそれを実現する 9 つの基本政策に基づき、68 の計画事業を実施しています。また、施策・組織横断的に事業を展開する未来創造戦略として、「オリンピック・パラリンピックレガシープラン」に取り組んでいます。

基本目標Ⅰ 未来をはぐくむあたたかいまち

計画事業のほぼ全てが「順調」と評価できる実績を上げています。

八ヶ岳荘は、季節に応じたアクティビティの拠点施設として、平成 31 年 4 月にリニューアルオープンしました。



■八ヶ岳荘のアウトドア・キッチン



基本目標Ⅱ いきいきかがやく元気なまち

計画事業のほぼ全てが「順調」と評価できる実績を上げています。

美術館は、文化の継承と刷新を極めた美術館として、令和元年 6 月にリニューアルオープンしました。



■美術館リニューアルオープン



基本目標Ⅲ 安心・安全で快適な緑のまち

計画事業の 7 割が「順調」と評価できる実績を上げています。

屋外案内標識は、小豆沢及び赤塚地域を優先整備路線として、ユニバーサルデザインで統一感のある標識を設置し、まちの魅力の発信力を向上しました。



■屋外案内標識の整備



未来創造戦略 オリンピック・パラリンピックレガシープラン

「オリンピック・パラリンピックレガシープラン」では、オリンピックデーラン板橋大会を開催し、競技体験やオリンピックトークショーなどを通じて、東京 2020 大会に向けて機運醸成を図りました。



■オリンピックデーラン



「経営革新計画」

「経営革新計画」は、経営資源を「選択と集中」により最適配分・有効活用するとともに、「人材育成・活用計画」との連携による組織力の強化を担い、「実施計画」（戦略事業を含む）を下支えし、時代の変化に的確に対応できる財政基盤の確立をめざしています。

限られた経営資源を多様化する行政需要への対応や未来創造戦略に配分しつつ、将来を見据えて持続可能な区政経営を実現するには、既存の行政サービスのあり方について、固定観念を持つことなく見直し、民間活力や区民参画を推し進め、区民サービスの質の向上を実現しています。

経営資源の再配分と民間活用の推進

区民との協働手法の見直しや、委託化等による民間活力の積極的な活用により、効率的・効果的な事務事業の運営や区民サービスの向上を図りました。

- 地域センターのあり方を検討し、地域活動のサポートや相談業務の強化、フードドライブ常設窓口の設置など、業務量と内容を見直し、体制を再構築しました。
- 借上期間の満了に伴い、新たに区立住宅（大山東町）をオーナーに返還し、経常経費の削減を行いました。
- 保育園給食調理・用務業務（1園）を委託しました。

「人材育成・活用計画」

若手職員の早期戦力化を図るため、「フォローアップ研修（新規採用職員）」、「わかりやすいビジネス文書研修（採用2年目職員）」を導入し、主体的に仕事に取り組む姿勢や相手の立場に立った責任ある行動を促すことで、区民や組織において信頼される職員の育成に取り組みました。

また、管理職のマネジメント力強化を目的に「管理職育成プログラム」を開始し、先輩管理職による講義を通して、管理職としての心構えや意識、基礎を固めるとともに、管理職同士のOJTを促進する働きかけを行いました。

この他、以下の体系に基づき、計画した事業を全て実施し、職員の人材育成を推進しています。今後も、実施事業の検証を繰り返しながら効果や成果を明らかにし、より効果的な人材育成に取り組んでいきます。

体系大分類	計画事業数	実施事業数
1 変革・挑戦する職員への成長	21	21
2 質を追求する組織の開発	15	15
3 戦略的な区政経営の実現	19	19
4 能力を最大限発揮できる環境の整備	11	11
合計	66	66

令和元年度の実績

令和元年度の実績は以下のとおりです。

【財政効果額】

計画値 (A)	▲4 百万円
実績値 (B)	13 百万円
比較 (B-A)	17 百万円

【人員削減数】

計画値 (A)	8 人
実績値 (B)	8 人
比較 (B-A)	0 人



■ 「わかりやすいビジネス文書研修」